

京都府建築工事および設備工事検査基準

平成20年4月1日

建設交通部長 通知

検査は、工事請負契約書、設計図書、仕様書およびその他の関係書類に基づいて行なうほか、この基準により実地において行なう。

主体工事検査確認事項

工種別	検査内容
土工事、くい地業工事	根切りの幅および深さの設計図書との照合 埋戻し土の質および締め固めの状態は適当か。 栗石の質、形状寸法、敷き込みの状態、目潰しの充填および突固めの状況は適当か。 杭はJIS指定工場の製品であるか。 杭の配列、本数、間隔及び杭頭の処理状況は適当か。 杭の最終沈下データの検討
鉄筋工事	イ 関係図面により加工組立が検査されているか。 ロ サイズ別試験成績表の検討 ハ 加工状況及び組立状況はよいか。 ニ 圧接継手位置(乱継)の状況、スラグの有無、強度試験成績表の検討
	イ 網材、リベット、ハイテンションボルトなどはJIS規格品であるか。 JIS規格品でない場合は、形状、寸法は検査されているか。強度試験結果の検討 ロ 現寸図、型板、工作図が検査されているか。 ハ 切断個所(水平垂直度、まくれ、ひずみ)のきょう正および密着度はよいか。 ニ ハイテンションボルトの締付状態、ピッチ、へりあき、座金の取付は安全か。 接触面の浮きさび、じんあい、塗料等はよく清掃されているか。 ホ 溶接(アーク溶接)は、記号どおりされているか。 溶接部にわれ、スラグの巻込み、脚の不ぞろい、サイズの不足などの欠陥はないか。

工 種 別	検 査 内 容
(鉄骨工事)	へ 塗装は仕様書どおりされているか。
コンクリート工事	<p>(型 枠)</p> <p>イ 型枠組立に際して、施工図は十分検討されているか。</p> <p>ロ コンクリート断面寸法について図面と照合。</p> <p>ハ インサート、差筋の取付の有無、型枠内部は清掃されているか。</p> <p>ニ 型枠が足場、浅橋などの仮設物と連結されていないか。</p> <p>ホ 型枠の存置期間およびサポートの取りはずし方法に誤りはないか。</p> <p>(コンクリート)</p> <p>イ コンクリートの調合比(各種補正を含む)は適当か。</p> <p>ロ コンクリートの打込方法および養生の状態は適当か。</p> <p>ハ コンクリートの打上り精度の良否と不良個所の処置は適当か。</p> <p>ニ レデーミクスコンクリートの使用に際しては J I S 5308 により施工されているか。</p> <p>ホ メーカーより提出された調合比、運搬距離は適当か。</p> <p>へ 供試体の採取方法および強度試験成績表の検討</p> <p>ト く体コンクリートの強度の検査</p>
組 積 工 事	<p>イ ブロックの割付図が作成され検討されているか。</p> <p>ロ 補強筋は図面どおり挿入されているか。</p> <p>ハ 空洞の充填コンクリートは十分か。</p> <p>ニ 鉄筋の結束、隅角部鉄筋の施工状態の検討</p> <p>ホ ブロックは、仕様書に指定された強度以上のものが使用されているか。(J I S 規格の検討)</p>
木 工 事	<p>イ 樹種、材質、寸法は設計図書により検討されているか。</p> <p>ロ 緊結金物の使用(寸法、締付、数量)は適当か。</p> <p>ハ 構造工法(継手、仕口の位置、土台の防腐剤塗等)は適当か。</p>

工 種 別	検 査 内 容
(木 工 事)	ニ かなな削り仕上の平滑度はよいか、曲り、そりはないか。 ホ 合板、ボード類のメーカ指定及び種別についての設計図書との照合。
左 官 工 事	イ 下地処理、不陸、ひずみの修正の良否。 ロ つけ送り、むら直しの状態は適当か。 ハ 窓、出入口廻りのモルタルの充楨は十分か。 ニ 浴室、バルコニー、その他の防水モルタル塗の勾配は適当か。 ホ 天井、床、壁の浮き、クラック、こてむらはないか。 ヘ 上塗の定規摺、出入隅の切付け、稜線ちり回りの切付けはよいか。
金属性建具工事	イ 現寸図が作製され品質、巾、高さ、周囲、壁面とのおさまり等についてよく検討されているか。 ロ 防錆処理、対アルカリ養成など設計図書どおりされているか。 ハ 枠回りのコーキングの施工は安全か。 ニ 水切り廻りの施工は安全か。
木 製 建 具 工 事	イ 形状、寸法、見込厚など図面により検査されているか。 ロ 材種、品等など設計図書どおりか。 ハ 附属金物の品質および取付状態は適当か。
金 属 工 事	イ 品質、寸法は設計図書どおりか、加工状態はよいか。 ロ 取付方法および使用場所は適当か。 ハ マンホール、点検口等の既製品の規格は設計図書どおりか。
防 水 工 事	イ 防水層の仕上りはよいか、材質、重ね巾、層数等は設計図書どおりか。 ロ 防水層押えおよび防水下地モルタルの勾配、平滑度はよいか。 ハ 防水層の立上りおよびドレーン廻りの処理はよいか。

工 種 別	検 査 内 容
石タイル工事	イ 割付、目地巾の均一度および平滑度はよいか。 ロ 床の仕上り勾配はよいか。 ハ 緊結金物の状態および裏込めモルタルの充填はよいか。
ガラス工事	イ 種類、厚み、形状等は設計図書と照会されているか。 ロ 特殊ガラス(熱線吸収ガラス、強化ガラス等)は指定されたものになっているか。 ハ 嵌込みの際のクリップ止め、敷パテは適当か。
塗 装 工 事	イ 塗料の種類および施工方法は設計図書どおりか。 ロ 下地の錆および有害な付着物は除去されたのちに塗装されているか。 ハ 下地の乾燥度はよいか。 ニ 仕上りのむらおよび平滑度の良否
外 装 工 事	イ コンクリート打放し仕上面における欠点の補修は適当か。 ロ 軒裏、庇裏等の塗布材の剥離、クラック、浮きはないか。 ハ 軒先、ベランダ先等に水返しが廻っているか。 ニ 壁面仕上のこてむら程度はよいか。 ホ 壁面、サッシ等の汚れは清掃されているか。 ヘ 基礎および土間仕上げの根切り深さは適当か。
内 装 工 事	イ 内装材の種類、工法の設計図書との照合。 ロ 仕上りのむらおよび平滑度の良否 ハ 畳の目違い、床、表の質、敷居との高低差の良否。 ニ 階段手摺の固定、仕上りはよいか。 ホ 釣戸棚、付鴨居等の固定はよいか。 ヘ 硝子、サッシ廻りの清掃はできているか。
そ の 他	上記各項のほか、設計図書の内容により検査照合する。

設備工事検査確認事項

工	種 別	検 査 内 容
設備工事共通事項	構造体の補強	イ スリーブ、箱入れ等梁貫通箇所の補強筋の確認。 ロ 分電盤および消火栓ボックスの箱入れ箇所の補強筋の確認 ハ 換気扇、フード排出口等の外壁廻りのコーキングまたは雨仕舞は適当か。
	逆勾配の防止	配管の接続方法および勾配を確認する。 (特に暖房横引管および排水通気管に注意する)
	塗 装	錆止め塗装については、鉄部のちり錆等をよく落してから塗装しているか確認する。
	床と配管の関係	スラブ上下配管および床下配管が根太等と接触することにより、ウォータハンマによる振動が床に響かぬよう配管が十分に考慮されているか。
	はつり工事 異物混入防止	柱、梁等の主要構造部をはつっていないか。 配管内へコンクリート塊、モルタル、木片、油、鉄くず等が混入していないか注意する。
	災 害 防 止	安全措置に十分注意しているか。
完成検査の際の整備書類	電気設備工事	イ 一般供給電力については絶縁抵抗測定、接地抵抗測定および各種継電器動作試験等の結果表 ロ 自家用電気工作物施設については通産省立会試験合格証 ハ 消防設備(自動火災報知器、非常警報設備、電気火災警報器等)は、消防長または消防署長の検査済証
	衛生設備工事	イ 給水設備でさく井のある場合は、揚水能力試験表 ただし、飲料水については衛生研究所または保健所の水質検査成績表 ロ し尿浄化槽については保健所の検査済証 ハ 消防設備(消火栓、泡消火設備、スプリンクラー設備、不燃性ガス消火設備等)については消防長または消防署長の検査済証
	暖 房 設 備	イ ボイラーおよび圧力容器については京都府人事委員会委員長の検査済証 ロ オイルタンクおよびオイル配管については消防長または消防署長の検査済証

工 種 別		検 査 内 容
工 事 別 検 査 事 項	電気設備工事	<p>イ 電線は、設計図書に指定されたものが使用されているか確認する。</p> <p>ロ 配管材料には総て J I S または型式承認番号とメーカー名が記入してあるので、特記仕様書と照合する。</p> <p>ハ 金属管の種類（厚鋼、薄鋼）および管とボックスをはさむアースボンドを確認する。</p> <p>ニ ケーブル相互またはケーブルと電線との接続およびケーブル末端処理の良否を確認する。</p> <p>ホ スイッチ、コンセント類の傾き直しおよびボックス内の清掃、絶縁ニス塗布の有無の確認。</p> <p>ヘ コンセントは向って右側（差込孔の小さい方）を電圧(+)側と接続してあるか確認</p> <p>ト 点灯、導通、回路、作動、絶縁および接地抵抗の各試験の有無の確認</p> <p>チ 開閉器類には定格電流、電圧、型式承認番号を表示してあるか確認する。 また、扉裏面には結線図が入れてあるかを確認する。</p>
	給排水、衛生、給湯、ガス、し尿浄化槽設備工事	<p>イ 衛生器具の取付の良否および締りぐあいの良否の確認</p> <p>ロ 弁類の種類 (1) 高架水槽以降の配管は J I S 又は J V 5 K 以上。 (2) (1)を除くものは総て J I S 又は J V 1 0 K 以上。</p> <p>ハ 吊金物、支持金物の間隔、取付方法および錆止塗装の良否の判定。</p> <p>ニ 給水給湯管、排水管内の泥はきおよび通水テストはされているか確認</p> <p>ホ 公共水道の場合は所管事業所の検査の有無の確認。</p> <p>ヘ 室内配管の防露、保温の見切部の菊座および分岐、曲り部のバンドの取付の確認</p> <p>ト 浄化槽の排気管の先端が建築物の開口部（窓出入口等）から 3 m 以内のときは、開口部の上端より 1 m 以上高くしてあるか。</p> <p>チ 高架または高置水槽内の清掃およびポールタップ、液面電極の作動状態の良否の確認</p>

工 種 別		検 査 内 容
工 事 別		<p>リ パイプシャット内の計量器の位置の確認 （検針の確認が容易な位置にあるか）</p> <p>ヌ ガス設備に対しては室内の吸排気の状態および燃焼 ガス排気管の取付けの有無</p> <p>ル 屋内排水管の勾配、管内の清掃およびますの内部仕 上の良否の確認</p> <p>オ し尿浄化槽</p> <p>（１）側壁とスラブのすき間のモルタル詰めの有無</p> <p>（２）導入管の点検（水深の 1/3 まで水没しているか。）</p> <p>（３）内部の構造および機能について保健所の指導の有 無</p>
	暖冷房空調設備 工 事	<p>イ 配 管</p> <p>（１）振動の伝播を防ぐ必要のある配管の防振継手、防 振吊金物および防振支持金物の施工状態の良否</p> <p>（２）伸縮継手を備えた配管の固定金物の施工状態の 良否</p> <p>（３）防火区画を貫通する管のすき間埋めの良否 （岩綿等の不燃材料で埋める）</p> <p>ロ 蒸気配管</p> <p>（１）管の勾配は適当か。</p> <p>（２）伸縮継手は、継ぎ折れおよび横振れのないように 取付けられているか。</p> <p>ハ 保温、保冷</p> <p>（１）保温、保冷材の材質および厚みは設計図書どおり 施工されているか。</p> <p>（２）冷水管の壁、床、梁の貫通箇所の保冷工事は完全 にできているか。</p> <p>ニ 風 道</p> <p>（１）矩形風道の角の継目に間げきはないか。</p> <p>（２）風道上端のボルトの締め忘れはないか、また、 清掃はできているか。</p> <p>（３）風道金物より他の配管（電気、給排水、天井等） を吊り下げまたは支持していないか。</p>
検 査 事 項		

工 種 別	検 査 内 容
工 事 別 検 査 事 項	<p>(4) 排出口の風道その他の荷重がかかっていないか。</p> <p>ホ 冷 却 塔</p> <p>(1) 積雪および風圧に対して安全であるか。</p> <p>(2) 排気および騒音が周囲に悪影響をおよぼさないか。</p> <p>へ 煙道の重量が直接ボイラーに加えられていないか。</p> <p>ト ボイラー、オイルタンク、冷凍機、制御機器等は設計図書に指示された能力および容量のものが設置されているか。</p>